

障害者総合支援法の対象疾病(難病等)の見直しについて

- 平成25年4月より、難病等が障害者総合支援法の対象となった(当初は「難病患者等居宅生活支援事業」の対象疾病と同じ範囲(130疾病)でスタート)。

【障害者総合支援法における難病等の定義】

＜法第4条抜粋＞

この法律において「障害者」とは、(中略)治療方法が確立していない疾病その他の特殊の疾病であって政令で定めるものによる障害の程度が主務大臣が定める程度である者であって18歳以上であるものをいう。

＜政令第1条より一部抜粋＞

法第4条第1項の政令で定める特殊の疾病は、治療方法が確立しておらず、その診断に関し客観的な指標による一定の基準が定まっており、かつ、当該疾病にかかることにより長期にわたり療養を必要とすることとなるものであって、当該疾病の患者の置かれている状況からみて当該疾病の患者が日常生活又は社会生活を営むための支援を行うことが特に必要なものとして内閣総理大臣及び厚生労働大臣が定めるものとする。

- 指定難病の検討等を踏まえ、障害者総合支援法の対象となる難病等の範囲を検討するため、「障害者総合支援法対象疾病検討会」(平成26.8.27設置)において、疾病の要件や対象疾病の検討を行うこととしている。

＜検討の経過＞

- ✓ 平成27年1月～ 第1次対象疾病見直し 130疾病 ⇒ 151疾病
- ✓ 平成27年7月～ 第2次対象疾病見直し 151疾病 ⇒ 332疾病
- ✓ 平成29年4月～ 第3次対象疾病見直し 332疾病 ⇒ 358疾病
- ✓ 平成30年4月～ 第4次対象疾病見直し 358疾病 ⇒ 359疾病
- ✓ 令和元年7月～ 第5次対象疾病見直し 359疾病 ⇒ 361疾病
- ✓ 令和3年11月～ 第6次対象疾病見直し 361疾病 ⇒ 366疾病
- ✓ 令和6年4月～ 第7次対象疾病見直し 366疾病 ⇒ 369疾病

- その後の指定難病の検討状況等を踏まえ、令和6年11月5日に開催した第10回障害者総合支援法対象疾病検討会において対象疾病の検討が行われ、369疾病から376疾病に見直す等の方針が取りまとめられた。
- 対象疾病を定める告示を改正し、令和7年4月1日から適用

障害者総合支援法の対象疾病の要件

指定難病（医療費助成の対象となる難病）の基準を踏まえつつ、障害者総合支援法の対象となる難病等の要件は以下の通りとされている。

指定難病の要件	障害者総合支援法における取扱い
① 発病の機構が明らかでない	<u>要件としない</u>
② 治療方法が確立していない	要件とする
③ 患者数が人口の0.1%程度に達しない	<u>要件としない</u>
④ 長期の療養を必要とするもの	要件とする
⑤ 診断に関し客観的な指標による一定の基準が定まっていること	要件とする

※他の施策体系が樹立している疾病を除く。
※疾病の「重症度」は勘案しない。

第10回障害者総合支援法対象疾病検討会の検討結果

新たに障害者総合支援法の対象とする疾病

- LMNB1関連大脳白質脳症
- PURA関連神経発達異常症
- 極長鎖アシル-CoA 脱水素酵素欠損症
- 乳児発症STING 関連血管炎
- 原発性肝外門脈閉塞症
- 出血性線溶異常症
- ロウ症候群

▷ 新たに指定難病として追加される上記の7疾病については、障害者総合支援法の対象疾病の要件を満たしているため、新たに障害者総合支援法の対象とする。

疾病の対象範囲を変更に伴い、疾病名を変更する疾病

- 該当なし

疾病名を変更する疾病

- 徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症
 - ▷ 変更案: 睡眠時棘徐波活性化を示す発達性てんかん性脳症およびてんかん性脳症
- 特発性血小板減少性紫斑病 ▷ 変更案: 免疫性血小板減少症

障害者総合支援法の対象外とする疾病

- 該当無し

障害者総合支援法対象疾病検討会 構成員名簿

飯野 ゆき子	東京北医療センター顧問兼耳鼻咽喉科科長
大澤 真木子	立教女学院理事長、赤坂クリニック非常勤医師、新宿神経クリニック非常勤医師
齋藤 有香	横浜市鶴見区福祉保健センター こども家庭支援課長
塩谷 昭子	川崎医科大学消化器内科主任教授
滝川 一晴	静岡県立こども病院脊椎診療センター長・整形外科医長
寺島 彰	公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会副会長
直江 知樹	国立病院機構名古屋医療センター名誉院長
中島 八十一	長野保健医療大学特任教授
錦織 千佳子	兵庫県赤十字血液センター所長兼近畿ブロック血液センター副所長事務取扱
○ 平野 方紹	立教大学コミュニティ福祉学部キャリア支援講師
平家 俊男	兵庫県立尼崎総合医療センター 院長
◎ 水澤 英洋	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター理事長特任補佐, 名誉理事長
宮坂 信之	東京科学大学名誉教授
和田 隆志	金沢大学学長

◎座長 ○座長代理

(50音順、敬称略)

令和7年4月からの障害者総合支援法の対象疾病一覧(376疾病)

● 新たに対象となる疾病 (7疾病)

△ 表記が変更された疾病 (2疾病)

○ 障害者総合支援法独自の対象疾病 (29疾病)

番号	疾病名	番号	疾病名	番号	疾病名
1	アイカルディ症候群	46	大田原症候群	91	クローン病
2	アイザックズ症候群	47	オクシピタル・ホーン症候群	92	クロンカイト・カナタ症候群
3	I g A腎症	48	オスラー病	93	痙攣重積型(二相性)急性脳症
4	I g G 4 関連疾患	49	カーニー複合	94	結節性硬化症
5	亜急性硬化性全脳炎	50	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	95	結節性多発動脈炎
6	アジソン病	51	潰瘍性大腸炎	96	血柱性血小板減少性紫斑病
7	アッシャー症候群	52	下垂体前葉機能低下症	97	限局性皮質異形成
8	アトピー性気管支炎	53	家族性地中海熱	98	原発性肝外門脈閉塞症 ●
9	アペール症候群	54	家族性低βリポタンパク血症1(ホモ接合体)	99	原発性局所多汗症 ○
10	アミロイドーシス	55	家族性良性慢性天疱瘡	100	原発性硬化性胆管炎
11	アラジール症候群	56	カナバン病	101	原発性高脂血症
12	アルポート症候群	57	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	102	原発性側索硬化症
13	アレキサンダー病	58	歌舞伎症候群	103	原発性胆汁性胆管炎
14	アンジェルマン症候群	59	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	104	原発性免疫不全症候群
15	アントレー・ピクスラー症候群	60	カルニチン回路異常症	105	顕微鏡的大腸炎 ○
16	イソ吉草酸血症	61	加齢黄斑変性 ○	106	顕微鏡的多発血管炎
17	一次性ネフローゼ症候群	62	肝型糖尿病	107	高I g D症候群
18	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	63	間質性膀胱炎(ハンナ型)	108	好酸球性消化管疾患
19	1 p 36欠失症候群	64	環状20番染色体症候群	109	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症
20	遺伝性自己炎症疾患	65	関節リウマチ	110	好酸球性副鼻腔炎
21	遺伝性ジストニア	66	完全大血管転位症	111	抗糸球体基底膜腎炎
22	遺伝性周期性四肢麻痺	67	眼皮腐白皮症	112	後縦靭帯骨化症
23	遺伝性肺炎	68	偽性副甲状腺機能低下症	113	甲状腺ホルモン不応症
24	遺伝性鉄芽球性貧血	69	ギャロウェイ・モフト症候群	114	拘束型心筋症
25	ウィーバー症候群	70	急性壊死性脳症 ○	115	高チロシン血症1型
26	ウィリアムズ症候群	71	急性網膜壊死 ○	116	高チロシン血症2型
27	ウィルソン病	72	球脊髄性筋萎縮症	117	高チロシン血症3型
28	ウェスト症候群	73	急速進行性糸球体腎炎	118	後天性赤芽球癆
29	ウェルナー症候群	74	強直性脊椎炎	119	広範囲椎管狭窄症
30	ウォルフラム症候群	75	巨細胞性動脈炎	120	膠様滴状角膜炎ジストロフィー
31	ウルリッヒ病	76	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	121	抗リン脂質抗体症候群
32	HTRA1関連脳小血管病	77	巨大動脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	122	極長鎖アシル-CoA 脱水素酵素欠損症 ●
33	HTLV-1 関連脊髄症	78	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	123	コケイン症候群
34	A T R - X 症候群	79	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	124	コストロ症候群
35	A D H 分泌異常症	80	筋萎縮性側索硬化症	125	骨形成不全症
36	エーラス・タンロス症候群	81	筋型糖尿病	126	骨髄異形成症候群 ○
37	エプスタイン症候群	82	筋ジストロフィー	127	骨髄線維症 ○
38	エプスタイン病	83	クッシング病	128	ゴナドトロピン分泌亢進症
39	エマヌエル症候群	84	クリオピリン関連周期熱症候群	129	5 p 欠失症候群
40	MECP2重複症候群	85	クリッペル・トレノナー・ウェーバー症候群	130	コフィン・シリス症候群
41	LMNB1関連大脳白質脳症 ●	86	クルーゾン症候群	131	コフィン・ローリー症候群
42	遠位型ミオパチー	87	グルコーストランスポーター1欠損症	132	混合性結合組織病
43	円錐角膜 ○	88	グルタル酸血症1型	133	鯉耳腎症候群
44	黄色靭帯骨化症	89	グルタル酸血症2型	134	再生不良性貧血
45	黄斑ジストロフィー	90	クロウ・深瀬症候群	135	サイトメガロウィルス角膜炎 ○

令和7年4月からの障害者総合支援法の対象疾病一覧(376疾病)

番号	疾病名	番号	疾病名	番号	疾病名
136	再発性多発軟骨炎	176	スミス・マジニス症候群	216	ダイヤモンド・ブラックファン貧血
137	左心低形成症候群	177	スモン ○	217	第14番染色体父親性ダイソミー症候群
138	サルコイドーシス	178	脆弱X症候群	218	大脳皮質基底核変性症
139	三尖弁閉鎖症	179	脆弱X症候群関連疾患	219	大理石骨病
140	三頭筋素欠損症	180	成人発症スチル病	220	ダウン症候群 ○
141	CFC症候群	181	成長ホルモン分泌亢進症	221	高安動脈炎
142	シェーグレン症候群	182	脊髄空洞症	222	多系統萎縮症
143	色素性乾皮症	183	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	223	タナトフォリック骨異形成症
144	自己食空胞性ミオパチー	184	脊髄髄膜瘤	224	多発血管炎性肉芽腫症
145	自己免疫性肝炎	185	脊髄性筋萎縮症	225	多発性硬化症/視神経脊髄炎
146	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	186	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	226	多発性軟骨性外骨腫症 ○
147	自己免疫性溶血性貧血	187	前眼部形成異常	227	多発性嚢胞腎
148	四肢形成不全 ○	188	全身性エリテマトーデス	228	多脾症候群
149	シトステロール血症	189	全身性强皮症	229	タンジール病
150	シトリン欠損症	190	先天異常症候群	230	単心室症
151	紫斑病性腎炎	191	先天性横隔膜ヘルニア	231	弾性線維性仮性黄色腫
152	脂肪萎縮症	192	先天性核上性球麻痺	232	短腸症候群 ○
153	若年性特発性関節炎	193	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	233	胆道閉鎖症
154	若年性肺気腫	194	先天性魚鱗癬	234	遅発性内リンパ水腫
155	シャルコー・マリー・トゥース病	195	先天性筋無力症候群	235	チャーシ症候群
156	重症筋無力症	196	先天性グリコシルホスファチジルレノシトール(GPI)欠損症	236	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群
157	修正大血管転位症	197	先天性三尖弁狭窄症	237	中毒性表皮壊死症
158	出血性線溶異常症 ●	198	先天性腎性尿崩症	238	腸管神経節細胞減少症
159	ジュベール症候群関連疾患	199	先天性赤血球形成異常性貧血	239	TRPV4異常症
160	シュワルツ・ヤンベル症候群	200	先天性僧帽弁狭窄症	240	TSH分泌亢進症
161	神経細胞移動異常症	201	先天性大脳白質形成不全症	241	TNF受容体関連周期性症候群
162	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	202	先天性肺静脈狭窄症	242	低ホスファターゼ症
163	神経線維腫症	203	先天性風疹症候群 ○	243	天疱瘡
164	神経有棘赤血球症	204	先天性副腎低形成症	244	特発性拡張型心筋症
165	進行性核上性麻痺	205	先天性副腎皮質酵素欠損症	245	特発性間質性肺炎
166	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	206	先天性ミオパチー	246	特発性基底核石灰化症
167	進行性骨化性線維異形成症	207	先天性無痛無汗症	247	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)
168	進行性多巣性白質脳症	208	先天性葉酸吸収不全	248	特発性後天性全身性無汗症
169	進行性白質脳症	209	前頭側頭葉変性症	249	特発性大腿骨頭壊死症
170	進行性ミオクロームスてんかん	210	線毛機能不全症候群(カルタゲナー(Kartagener)症候群を含む。)	250	特発性多中心性キャッスルマン病
171	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	211	早期ミオクロニー脳症	251	特発性門脈圧亢進症
172	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	212	総動脈幹遺残症	252	特発性両側性感音難聴
173	睡眠時相徐波活性化を示す発達性てんかん性脳症およびてんかん性脳症 △	213	総排泄腔遺残	253	突発性難聴 ○
174	スタージ・ウェーバー症候群	214	総排泄腔外反症	254	ドラベ症候群
175	スティーヴンス・ジョンソン症候群	215	ソトス症候群	255	中條・西村症候群

令和7年4月からの障害者総合支援法の対象疾病一覧(376疾病)

番号	疾病名	番号	疾病名	番号	疾病名
256	那須・ハコラ病	299	ヒルシュスブルグ病(全結腸型又は小腸型)	342	無脾症候群
257	軟骨無形成症	300	VATER症候群	343	無βリポタンパク血症
258	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	301	ファイファー症候群	344	メーブルシロップ尿症
259	22q11.2欠失症候群	302	ファロー四徴症	345	メチルグルタコン酸尿症
260	乳児発症STING関連血管炎 ●	303	ファンコニ貧血	346	メチルマロン酸血症
261	乳幼児肝巨大血管腫	304	封入体筋炎	347	メピウス症候群
262	尿素サイクル異常症	305	フェニルケトン尿症	348	免疫性血小板減少症 △
263	ヌーナン症候群	306	フォンタン術後症候群 ○	349	メンクス病
264	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/LMX1B関連腎症	307	複合カルボキシラーゼ欠損症	350	網膜色素変性症
265	ネフロン癆	308	副甲状腺機能低下症	351	もやもや病
266	脳クレアチン欠乏症候群	309	副腎白質ジストロフィー	352	モワット・ウィルソン症候群
267	脳髄黄色腫症	310	副腎皮質刺激ホルモン不応症	353	薬剤性過敏症候群 ○
268	脳内鉄沈着神経変性症	311	ブラウ症候群	354	ヤング・シンブソン症候群
269	脳表へモジデリン沈着症	312	ブラダー・ウィリ症候群	355	優性遺伝形式をとる遺伝性難聴 ○
270	膿疱性乾癬	313	プリオン病	356	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん
271	嚢胞性線維症	314	プロピオン酸血症	357	4p欠失症候群
272	パーキンソン病	315	PRL分泌亢進症(高プロラクチン血症)	358	ライソゾーム病
273	パージャール病	316	閉塞性細気管支炎	359	ラスムッセン脳炎
274	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	317	β-ケトチオラーゼ欠損症	360	ランゲルハンス細胞組織球症 ○
275	肺動脈性肺高血圧症	318	パーチェット病	361	ランドウ・クレフナー症候群
276	肺蛋白症(自己免疫性又は先天性)	319	ベスレムミオパチー	362	リジン尿性蛋白不耐症
277	肺低換気症候群	320	ヘパリン起因性血小板減少症 ○	363	両側性小耳症・外耳道閉鎖症 ○
278	ハッチンソン・ギルフォード症候群	321	ヘモクロマトーシス ○	364	両大血管右室起始病
279	バッド・キアリ症候群	322	ペリー病	365	リンパ管腫症/ゴーハム病
280	ハンチントン病	323	ペルーシド角膜辺縁変性症 ○	366	リンパ管筋腫症
281	汎発性特異性骨増殖症 ○	324	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	367	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)
282	PCDH19関連症候群	325	片側巨脳症	368	ルビンシュタイン・ティビ症候群
283	PURA関連神経発達異常症 ●	326	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	369	レーベル遺伝性視神経症
284	非ケトーシス型高グリシン血症	327	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	370	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症
285	肥厚性皮膚骨膜炎	328	発作性夜間ヘモグロビン尿症	371	劣性遺伝形式をとる遺伝性難聴 ○
286	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	329	ホモシスチン尿症	372	レット症候群
287	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	330	ポルフィリン症	373	レノックス・ガスター症候群
288	肥大型心筋症	331	マリネスコ・シェーグレン症候群	374	ロウ症候群 ●
289	左肺動脈右肺動脈起始症	332	マルファン症候群/ロイス・ディーツ症候群	375	ロスモンド・トムソン症候群
290	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	333	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	376	肋骨異常を伴う先天性側弯症
291	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	334	慢性血栓性肺高血圧症		
292	ピッカースタッフ脳幹脳炎	335	慢性再発性多発性骨髄炎		
293	非典型型溶血性尿毒症症候群	336	慢性膵炎 ○		
294	非特異性多発性小腸潰瘍症	337	慢性特異性痙攣性腸閉塞症		
295	皮膚筋炎/多発性筋炎	338	ミオクロニー欠神てんかん		
296	びまん性汎細気管支炎 ○	339	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん		
297	肥満低換気症候群 ○	340	ミトコンドリア病		
298	表皮水疱症	341	無虹彩症		

注) 疾病名の表記が変更になる可能性がある